

# ひろば大代

NO.365

大代まちづくり  
センター

H21.12.23



授賞式にて

## 盆踊りがずっと続くといいな 難波利三賞を受賞して

小5年 井谷美紅

私は最初にこの「難波利三ふるさと文芸賞」の特選をとったと先生に聞かされた時は、うれしいと言うよりびっくりでした。

特選をとったことが新聞にのっていたのをいろんな人が見て電話や手紙を

下さったり、大代町の方々にもお祝いの言葉をかけていただいた私もだんだんうれしさがわいてきました。

私は夏休みの宿題で作文を書きました。ふるさとの作文だから何にしようかなとずっと迷っていました。でもそのころに盆踊りがあったのでそのことを書きました。

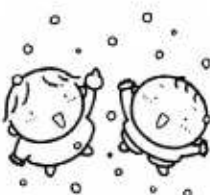
私はその作文に書いたように大代の盆踊りがずっと続いたらいいと思います。

私にとって、この賞は一生の思い出になると思います。

## あめ色の風景

### 難波利三賞を受賞して

上飯谷 武田 穰



このたび第10回難波利三賞ふるさと文芸賞で拙作『あめ色の風景』が入選の栄に浴しました。

思えば壇上で表彰されるなどということは小学校1年生の書道コンクール以来30数年ぶりのことで、11月22日の授賞式でも同行した妻から「ずいぶん緊張していたわね」とからかわれたほ

どです。しかし竹腰創一市長から賞状を手渡され、難波利三先生とともに記念写真に収まり、とても嬉しく晴れがましい思いでした。

井谷美紅さんが小学生の部で特選に選ばれ、受賞者13名のうち2名が大代町出身というのも、実に誇らしいことでした。

拙作の全文をここで披歴することはできませんが、『あめ色の風景』は、自分の幼少時から現在に至る心象風景をひたすら愚直に描写したものです。子ども時代に慣れ親しんだ水がめ「はんど」と、長じて仕事で携わることになった「石州瓦」この2つの『あめ色』来待（きまち）色』を通じて、かけがえのないふるさとへの想いを語りたかったのです。それは私がいったん進学就職で大代の地を離れたからこそ得られた感慨かもしれません。

かつて温泉津の港から北前船で全国に送られたという「はんど」も、私たちの町並みを彩る「石州瓦」も、生活の場から消え去ろうとしていますし、地場産業としても非常に厳しい状況にあります。時代の流れと言ってしまう

ばそれまでですが、やはりそのままでは寂しいものです。古人の言葉に「故きを温めて新しきを知る」とか。何につけ良いところを良いと認める素直さと、変えるべきところを変える志とを持って、この地を大切にしたいと願うこの頃です。

## 新成人おめでとう！

来る1月4日(月)大田市民会館において成人式が行われます。大代では次の方々が大人の仲間入りです。

おめでとうございます。(敬称略)

上市 木村亮介

柿田 横手明日香

柿田 岡田恵美

下飯谷 飯田啓介

## クリスマス会 サンタさんありがとう



11日夜7時、ぞくぞくと子どもたちがそれぞれプレゼントを持ってセンタへ集まってきました。



ちょっと食べたいな！

さあ、これからクリスマス会の始まりです。まず、始めにケーキ作りです。男の子も女の子もみんな一緒に三班に分かれて、力を合わせて生クリームを泡立てていきます。小さな子たちは手についたりしたクリームを大喜びで舐めています。大きい子供たちは一生懸命に泡立てています。

出来上がったら、スポンジの生地にくっついていきます。残りは袋にいれ、ケーキの上や周りに、くだもの、チョコ、粉さとうなどで飾りつけて出来上がりです。残ったクリームに大はしやぎ。そしてケーキと紅茶でのお茶会。

みんな大満足の出来上がりでした。

次はゲーム。そしていよいよプレゼント交換。今年は何が入っているのでしょうか？慎重に吟味しながら、選んでいく子供たち。楽しそうです。

今年も東京石見高山会の松野広さんからバナナとチョコレート、雑貨などのプレゼントがあり、みんな楽しんでクリスマス会でした。

有り難うございました。

## しめ縄づくり講習会

今年も残り僅か、お正月を自分の作ったしめ縄で迎えようと、しめ縄作り講習会が開催されました。

最初に全員でわらを木槌でたたいて柔らかくして、わらを根元のほうからさばいてきれいに束ねていきました。出たクズのわらも縄の中に入れて大きくするのを使うので取っておきました。さて一番初めに縄を左前からなうことかからしました。みんなうまくできなくて、お互いに「それは右縄！」「いや左だけえ」「あんたのが右で」「いや、ちがうだけえ」などと言いな



ら、楽しく作り始めました。なかなか縄にならない人や黙っててもくもくと作業する人など、少しずつしめ縄らしくなってきました。



みんなでも楽しく作ることができてよかったです。自分が作ったしめ縄で正月を迎えられるなんて最高です。

### 書初め展の作品を募集します！

まちセンで書初め展示会をいたします。題材と様式は自由でどなたでも出品でき、出品された作品には参加賞が

あります。ふるってご応募ください。

提出締め切り 1月15日(金)

展示日 1月15日～1月末日まで

### 大代交対協よりお知らせ

#### 年末・年始の交通事故防止運動

12月20日から1月9日まで

運動の重点

- ① 飲酒運転の根絶
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### お知らせ

まちセンからお礼  
大代婦人会様よりご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

### 大代地区社協より

八反田 中島博隆様から  
本郷 山根恒人様から

香典返しにかえそれぞれ金一封のご厚志をいただきました。厚くお礼申し上げます。

### 1月行事予定



1日(金) 新年挨拶交歓会

まちセンにて午前9時から

会費二百円(当日)

- ▼4日(月) 大田市成人式
- ▼10日(日) 消防出初め式
- ▼17日(日) 福祉弁当
- ▼23日(土) 連合自治会
- ▼31日(日) 婦人会支部長会

### 編集後記

師走に入り今年もあと僅か、今年一年を振り返って漢字で表すと「感謝」になります。皆様にも自分にもこの言葉を贈りたいと思います。皆様ご支援ご協力を賜り、有り難うございました。よいお正月をお迎え下さい。☆☆

※1月10日は「10番の日」です。

「いち早く、いそがず慌てず、  
れい静に」

《悩むよりかけて安心 #9110》

大代駐在所

## 第十四回 難波利三・ふるさと文芸賞

「小学生の部 特選作品」

盆踊りがずっと

続くといいな



大田市立大代小学校五年 井谷美紅

急に「キヤー」という声があったので、私はすぐに声のする方を見ました。見ると、ぶ台ではちようど「頼政」という演目の神楽をやっていました。この演目では大ざると小ざるが、ぶ台を飛び出してお客さんをこわがらせます。それはにげるお客さんの声でした。私はさるたちはまだ遠くにいたので安心していましたが、あつという間に私たちの所にもやってきました。私は友だちと一生けん命にげました。にげ回りながらこわい気もするけど、毎年なぜかこのとき、私はにこにこしてしまいます。私はなぜだろうと思いました。私の住むこの大代町では毎年八月十四日に神楽と盆踊りが行われます。この行事は私が小さい頃からずっと続いてきた行事です。私も毎年参加してきました。

私はいちごのかき氷を食べていましたが、たいこと歌が流れ始めるとみんなが自然に輪を作って盆踊りが始まりました。私も急いで輪の中に入りました。でも私はまだはつきり踊りがわからないので、前の人のを見ながらまねをするように踊りました。覚えられそうでなかなか覚えられません。

盆踊りは長くてまだまですつと続きます。私はとちゆうで少しつかれたので、休むことにしました。輪からはなれて盆踊りを見ていると、輪に入って踊っている人たちは、みんな笑顔で楽しそうに踊っておられます。友だちも笑顔で踊っています。おじさんやおばさんたちもみんな笑顔でした。先頭で踊っている森のおじさんは、毎年変そうをして盆踊りをされます。今年も同じ変そうだったので、いつまでたっても変わらないなあと思いましたが、それに、ふだんは都会で生活している人たちも、この盆踊りには大代に帰って笑顔で盆踊りに参加しておられます。私は、元気だったんだなあ、また会えてよかったなあと思えました。

私はついこの前、新聞で津和野の盆

踊りを見たのを思い出しました。その時は踊る服そうがめずらしいなあぐらいいしか思っていなかったけど、たしか盆踊りをしていた人たちは全員が笑顔でした。

私は盆踊りをおこって踊ったり、泣きながら踊ったりしているのを見たことがありません。盆踊りはみんなを笑顔にするんだと思いました。私が神楽のさるたちに追いかけてられても、ここに笑顔でいるのも盆踊りだからかもしれないと思いました。みんな盆踊りを楽しみにしているんだと思いました。私はまた急に踊りたくなって、輪の中に入ってもう一度踊りました。今度はずっと踊りました。踊りはなかなか覚えられなかったけど楽しくて自然に笑顔になっていました。

一年に一度、みんなが集まって、元気で変わらずに笑顔でなれる盆踊りは、ふるさと大代の宝物だと思います。私に大人になってもずっとこの盆踊りが続けばいいなあと思いました。そのころにはきっと私も上手に踊れるようになっていくと思います。盆踊りを大代のみんなの手で守っていききたいです。